



# 横浜市立川和東小学校 学校便り

## Create

「創造する子」【自分・仲間・学校・まち・夢を創る】

4月号

発行日  
2020年  
4月7日

～自分・仲間・学校・まち・夢を創る～  
～「創造する子」未来への挑戦～

変化の時代だからこそ創造力を発揮する一年に！

横浜市立川和東小学校  
校長 齋藤 稔

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休校が続く中ではありますが、令和2年度がスタートしました。臨時休校中であつたとしても、春を告げる桜の花が満開となり、心癒されるとともに、新たな年度を迎える決意が自然と湧き上がってきました。人間社会が変化への対応と戦っていても、自然は悠然と時を刻み、冬から春へと確実に移っています。我が家の庭にも、「りす」が椿の花の蜜や夏みかんの実を求めて、陽射しがあるとやってきます。また、先日は、ウグイスの「ホーホケキョ！」の声を聞くこともできました。どんな時でも変わらずに季節を刻む自然のすごさにあらためて感動しました。

変化の時代の中にあり、変化を受け入れ、変化に対応する子どもの育成が求められているかと感じます。「変化する世の中の体制に合わせるしかないので、変化を受け入れる。」という考え方もありますが、それよりも、変化の時代にあつても、変化の波の上を航海する船に例えれば、自分を見失わずに自分の力で進んでいく方向を決めて、波間を悠々と船をすすめていくことが必要と考えます。

川和東小学校の学校教育目標である「創造する子の育成 Create」からすれば、変化の時代であっても、自分自身がすすんで新たな変化を生み出すような人に育ってほしいという思いのこもった学校教育目標です。変化の時代にあつても創造力を十分に発揮して乗り越えていく人材の育成に取り組んでいかなければと決意いたします。

しかし、いつも通う学校が、毎日、変化、変化ばかりでいつもとはちょっと違うことがあるとどうしても不安や心配が先にきてしまいます。子どもたちにとっては、毎日変わらず、楽しく笑顔が溢れ、たくさん学ぶことのできる学校として、教職員全員が力を合わせて、子どもたちが、変わらずに安心して通う学校としてまいります。先行きが見えない部分も多くあり、ご心配をおかけいたします。ご家庭とは、電話で連絡を取るなどの連携や学校での相談活動は継続いたします。来校いただいております。引き続き連携へのご理解とご協力をお願いいたします。子どもたちの活動にも制限がありますが、地域のコミュニティーの力もお借りし、学校・家庭・地域が協力して子どもたちを見守っていきたいと思います。

入学式で新入児童を迎え、始業式で、新しいクラスの友達、学級担任の先生が決まりました。誰もが、新しいスタートで頑張ろうと感じたことと思いますが、臨時休業が続きます。学校が再開できた時に、今の頑張ろうという気持ちをもって登校してきてください。

今年度は、子どもたちにどんな一年にしていきたいのかを教えてもらうことができずにスタートしてしまいましたが、毎日が、新たな目標をもって進んでいく年ととらえて、子どもたち一人ひとりが笑顔で元気に楽しく通う学校にまいります。

本年度一年、どうぞよろしくお願いいたします。

学校便りは、本校ホームページでもご覧いただけます。あわせてご覧ください。

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawawahigashi/>